

議決権行使レポート

証券コード 7990

会社名 グローブライド

	賛成	反対	棄権
第1号議案 取締役7名選任の件	—	—	—
鈴木 一成 氏	○		
大竹 有司 氏	○		
鈴江 浩康 氏	○		
谷口 央樹 氏	○		
小林 忍 氏	○		
高橋 智隆 氏	○		
高瀬 正子 氏	○		
第2号議案 補欠の監査等委員である 取締役1名選任の件	—	—	—
深山 美弥 氏	○		
第3号議案 取締役の報酬額改定の件	○		

上記の推奨をした理由

最初に、第1号議案の各取締役の選任について考える。鈴木氏は現社長としてグループの売上増を導いたということで、今後の経営にも期待できる。フィッシングにも精通していると感じられるため、主に釣り用品を取り扱う同社のトップに相応しいと言えるだろう。大竹氏は社長の鈴木氏の同期として多様な経歴を持っており、さらに昨年から同社のサステナビリティを担う主軸として活動しているため、今後も会社にとって必要な存在であると思われる。鈴江氏も同期であり、国内に留まらずタイでも生産の責任者を経験しているため技術面でのブレインとしての活躍が期待できる。同じく同期の谷口氏は、同社で人事や会計などを担当し続けており、他の候補者とは異なる財務的なアプローチでの考え方を提供できると想定される。小林氏はフィッシングの他にゴルフやラケットスポーツ事業で営業部長を歴任してきたことから、同社の売上を支える様々な事業にそれぞれ深い見識を持っているため、営業面で活躍できるだろう。社外取締役候補の高橋氏は、2015年から同社でデザインの中核を担っており、今後もクリエイティブ面での活躍を期待できるだろう。取締役枠の増加に伴って新たに高瀬氏が候補となっているが、彼女はデータ系を扱ってきているためITに強く、さらに唯一の女性として女性視点の考えを出してくれると考えるのもいいだろう。このように、どの候補も他には無い強みを持っており、この7人が合わさることで同社はさらなる発展をめざして行けるだろうと考える。さらに現任の6名

は長年同社を引っ張ってきたブレインで、コロナ期の低迷期から売上を回復させた実績もあり、同社にとって信頼できるだろう。以上のことより、7名全員の選任に賛成する。

次に、第2号議案の補欠監査取締役の選任について考える。深山氏は2002年から東京地検の検事として10年間ほど活躍しており、その後は弁護士としての経歴を持っている。さらに現在、他社でも監査役に選ばれていることから、信頼のできる客観性や公平性を十分に確認できるため、彼女の選任に賛成する。

最後に、第3号議案の取締役の報酬額改定について考える。確かに上層部の給与を高くしすぎると、経営に悪影響を及ぼしたり従業員の士気低下を招いたりする恐れがあるだろう。しかし今回の報酬額改定は、取締役枠の増加に伴うものであり、指名・報酬諮問委員会の審議を経て決定していることから適切な賃上げと言えるだろう。さらに第1号議案に関してどの取締役も必要な人材であると結論づけたこともあり、この給与の増加は必然だと捉えていいと考えるため、報酬額の改定に賛成する。

以上のように、全ての議案に賛成していいだろうと考える。